

第2回 三次市立十日市小・中学校等改築基本構想・基本計画策定委員会 議事録

件名	第2回 三次市立十日市小・中学校改築基本構想・基本計画策定委員会		
日時	令和6年6月5日(水) 14:00～16:00	場所	三次市役所本館3階会議室
出席者（策定委員）		出席者（その他）	
・朝倉委員長 ・栗崎副委員長 ・古本委員 ・藤井委員 ・田原委員 ・新田委員 ・岩瀧委員 ・細川委員 ・道原委員 ・江草委員 ・福岡委員 ・楨原委員 ・宮脇委員		（事務局） ・迫田教育長・黒瀬主任主事・熊谷課長 ・豊田次長 ・曲田専門員 ・山田係長 ・渡部課長 ・信田係長 ・仲主任主事 ・今井係長 （アドバイザー） ・大旗連合建築設計株式会社 ・パシフィックコンサルタンツ株式会社	
欠席者（策定委員）			
なし			
配布資料	・次第 ・委員名簿（事務局あり） ・第1回学校・PTA部会，地域・生涯学習部会意見リスト ・基本構想（たたき台） ・第1回策定委員会（4月24日）での主なご意見と対応		
議事	(1) 基本構想の検討について		

1 開会 2 あいさつ

事務局 定刻となりましたので、ただ今から「第2回 三次市立十日市小・中学校等改築基本構想・基本計画策定委員会」を開会させていただきます。皆様本日はそれぞれお忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。教育委員会教育企画課の渡部です。どうぞよろしくお願いします。それでは委員会の開催に当たりまして、委員長から一言ご挨拶をいただければと思います。よろしくお願いします。

委員長 改めまして皆さんこんにちは。お忙しい中お集まりくださいますありがとうございます。委員会が始まって私自身も今まで以上にいろんな場所のいろんな学校や学校以外の建物・施設に関心を持つようになっていきます。やはり感じますのは、その施設の中に込められた思いや願い、そして機能、それがその施設そのものとうまく合致したときに、本当にいいものになっているんだなと思います。十日市小・中学校が子どもたちにとって、そして地域の方々にとって、市民にとってより良いものになることを願って、進めていきたいと思っています。引き続きご協力ご支援のほどよろしくお願いします。

事務局 ありがとうございます。本日の会議ですが、最大で2時間程度を考えております。どうぞよろしくお願いいたします。それでは本日の会議には、委員の皆様13名全員の出席をいただいていますので、会議が成立しています。本日の配付資料は、皆様のお手元に配布物一覧として、それぞれお配りしています。不足がありましたら、おっしゃってください。それではここからは委員長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

3 経過 4 議事

委員長 では座ったまま、進行をさせていただきます。それでは次第に沿って進めていきます。次第の3経過について、事務局から説明をお願いします。

事務局 教育企画課の今井です。よろしくお願いいたします。次第3経過に記載しています通り、4月24日水曜日に開催しました第1回策定委員会後、5月23日木曜日の10時から第1回学校あり方部会、13時から庁内部会を開催しました。5月24日金曜日の18時から、第1回学校・PTA部会と地域・生涯学習部会をワークショップ形式により合同開催し、様々なご意見をいただいたところです。意見の内容につきましては、資料2にまとめておりますが、詳細につきましては、事業者より説明をさせていただきます。

大旗連合建築設計 大旗連合建築設計の柴崎が説明させていただきます。5月23日木曜日に6名の部会員様にお集まりいただきまして、学校あり方部会を開催しました。議事としては、「みよし学びのグランドデザインについて」と学校のあり方が配置に関係してきますので、配置検討表というものを作っておりまして、この資料をもとにお話をさせていただきました。

まず初めに迫田教育長から、学校の改築の根幹に関係するグランドデザインとしての考え方を説明させていただきました。

その後、豊田教育部次長より学びについて、多面的にお話いただきました。この中で3つのキーワードとして、自立であったり、共創であったりウェルビーイングということが大事であるというお話をさせていただきました。

それからたくさんのキーワードを表したペーパーを元に、皆さんと議論しました。

学校教育の話の中では、地域コミュニティもすごく大事だということをお願いしたり、子どもたちが自分たちで学ぶことができるような学校であった方がいいであるとか、DXとかAI等、現在必要とされているツールも学校にとって必要なことではないか、やはり児童・生徒に主体性があるということが必要ではないかという話をいただきました。また、学校というところの大前提としては、安心安全な場であることが必要であるというお話もいただきました。皆さんからたくさんの意見をもらいながら会議を進めましたが、運用ではなく、考え方が施設に結び付いたり、反対に運用や考え方、学校のあり方が施設に反映されていくのではないかという意見が出ました。

共創ということに関しては、公共と民間、半公共のものがあるかもしれませんが、そのようなことを取り入れることが必要ではないか。

十日市には様々な施設が既にあるということで、そこをどのように繋げてい

くかも課題として出てきました。

キーワードの中ですごく印象に残ったことは、「混ざる」「開く」ということが実現できる学校になったら良いのではないかということが、大きなキーワードとなったところです。

最終的なまとめがありまして、こちらで案を作ったものを元に話をさせていただき、完全一体型ではなく敷地を跨ぐのはどうかということや、集約することでコアとサテライトということでメリハリをつけた校舎ではどうかというようなことも今後まとめていくべきではないかという意見がありました。その中でグラウンド、図書館がどうであったり、給食室がどうであったり、子どもたちにとっていい学校建築というのはどういうものかということを検討しながら、敷地一体や校舎一体にしたところに、まち全体、防災、十日市の特性、地域利用などを盛り込みながら、今後検討を進めていきたいというような話をしました。

次に、庁内部会を開催していただきました。庁内部会で話し合ったことについて報告をします。庁内部会は、三次市の中にある各関係課の方々、担当の方々に参加いただきました。事業費をどのように予定しながらやっていくのか、その事業費に対して補助金なども必要ではないかという話で、どのような補助金が見えるのか、各課や私たち事業者が、今後情報を持ち寄って、学校の建設に繋げていきたいという話をしました。あとは防災のことについても結構話が出てきて、防災上としては補助避難所となると思いますので、どのような避難所にしていくかということも、今後話をしながら進めたいと思います。

後ほどのワークショップの報告でも出てきますが、道路・通学路や送迎の観点、安全性をもっと確保しなければならないのでは、という意見も出ました。もう一つは社会体育というものが先ほどのあり方でも出てきましたが、地域との結び付きになりますので、この利用についても検討していきたいという話になりました。

また、ワークショップでも出てきた話ですが、小学校敷地の真ん中に道がついており、これをどのように公用廃止できるのか、できないのか等も、関係する課と今後連携してより良い敷地の使い方を検討していきたいということが話し合われました。

庁内部会は以上になりますが、最後にワークショップで話し合ったことについて、皆様の方に資料があると思うのですが、そちらを参考にして、話をさせていただきたいと思います。今日ご出席の皆様も参加してくださっていますが、このワークショップでは4つのテーマで意見をいろいろと話し合ってもらいました。

ワークショップは1回目でしたが、すごく活発な議論となりました。一つ目のテーマですが、十日市小・中学校に関する現場のニーズや課題（セキュリティやグラウンド、児童・生徒の移動動線について）をいただきました。

まず児童の動線や車両の動線など、安全性・利便性に関する課題がたくさん

あることや学校の施設が老朽化しているということで、社会的劣化を課題として捉えられているというような意見がたくさん出てきました。

2つ目のテーマでは、新しい学校に取り入れたいことについて、今の学校や今の児童・生徒たちに対して、どんな学校であつたらいいかということについて様々な意見をいただいております。のびのびした学校であつたり、必要とされているバリアフリー、そして個性を生かすことができる学校になつたらいいのではないかという意見をいただきました。あとは教職員の働き方についてもご意見をいただいております。

3つ目のテーマ防災に関しては、やはり安全でないといけないというところで、様々なデータを元にして、今後検討していく中で、ハード面とソフト面、両方が避難や災害への対策としては必要であるという意見をたくさんいただきました。

4つ目に、地域との関係性ということでご意見をいただきました。十日市で実践していることや自分たちの思い出について、各グループで話されていきました。

今進められているコミュニティ・スクールとの連携ということが基本・基礎にあつて、お話をしてくださっているような気がしました。また、アンケートでいただいた中には、他校との交流について話をしたかったができなかったということや児童数の推移について皆さん気にされているように感じました。

アンケートでいろいろとリクエストを聞きましたが、一番多かった意見は、今後のスケジュールが聞きたいということ、最近の学校がどうなっているのか視覚的に見たいというようなご意見をいただいております。

委員長

ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたが専門部から出された意見などについて補足をお願いしたいと思います。学校・PTA部会長からお願いします。

委員

今事務局から説明がありましたが、リストに記載している防災上の位置づけというところで、上から2つ目に浸水対策があります。わざわざ川に近い方へ避難するということは、なかなか考えられないということと、昨今広島銀行十日市支店さんが新築されたときに、1階を駐車場にして2階で業務ができるように嵩上げされたと聞きました。学校も同様の対応をすれば、教職員の駐車スペースも確保できるのではないかという意見がありました。

また、今後統廃合が考えられるとすると、多方面からの送迎車やバスの往来に配慮することが必要であるという意見がありました。そして現地建替えであれば、小学校と中学校の敷地が離れていますので、府中市立府中学園さんのようにグラウンドと校舎を行き来できるように歩道橋を設置すれば、安全対策にもなるし、近隣にも迷惑はおかけしないし、土地の有効利用になるのではないかと考えました。

委員長
委員

ありがとうございました。続いて、地域・生涯学習部会長からお願いします。特にこれ以上はないのですが、素晴らしい建物を作っていただくのはもちろ

んですが、先のことを考えて、メンテナンスが行いやすく、凝りすぎないところで話をまとめていただくことも大切と思っています。いろいろと良い意見がたくさんありますので、全部取り入れると具体性に欠けると思います。地域としては長く、安心して託せるような形にしていただければと思っています。

委員長 ありがとうございます。専門部会の様子がいつそう具体的に理解できたと思います。その他それぞれの部会へ出席された委員の皆様からも、今のお話を受けて補足や意見がありましたらお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 対応可能か分かりませんが、一つは小学校のグラウンドと校舎の間にある里道についてです。いくらかの移動は可能なのでしょうか。もう一つは、市立プールと市立体育館を一緒にすることはできないのでしょうか。そうすればかなりのスペースができるのではないかと思います。また、小学校と中学校を一通り見せてもらいましたが、小学校は空き部屋を上手に使用しており、余裕があるように感じました。しかし、中学校に関しては大変ひどいと感じました。これから児童数がどうなるか分かりませんが、いくらか余裕のあるような設計にしていだきたいなと感じました。

委員長 ありがとうございます。大事な点がたくさんありましたが、一旦引き取らせていただきます。その他の委員さんから補足や意見等があれば、お願いします。

委員 立地としての補足があります。駅からちょうど伸びる道、中学校のグラウンド付近に売地があります。駅からアクセスの良い学校ですので、あわよくば、親水公園の方までの動線も含めて、この機会に検討できないでしょうか。

委員長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。
全体での報告や補足事項、ご意見・ご質問等については、これから重要視すべきことだと思いますが、現時点で事務局からお話があればお聞かせいただけますか。

事務局 里道の件はワークショップでも話が出ました。通常使いもしているので、付け替えることはできないのかというご意見もありましたが、基本計画の中では校舎の配置やグラウンドの配置について検討していくことになります。その際には、里道の件についても、対応を検討する必要があると考えています。また、体育館につきましては、中学校にある体育館が市立体育館の位置づけですので、地域の方も使いやすいように整備する必要があると考えています。

なお、プールにつきましては、基本的には検討対象外ではありますが、先般のワークショップの中でも、プールの活用というご意見も出ていますので、検討は必要だと考えています。そして、空き教室については、学校の先生から、児童は減っているが、必要な教室数は増えているというお話も聞きましたし、ワークショップの中でも出ている、柔軟な使い方もできる部屋の構成が必要だと考えています。

今の駅からつきあたりのところの土地が活用できないかとかいうご意見がありました。民間の土地であり、購入手続きなども必要になりますので、活用については、配置や学校へのアクセスを検討する中で、必要に応じて対応すべき項目だと思います。

委員長

ありがとうございました。それではご報告があった様々なご意見、観点そしてただいまご指摘いただいたことも含めて、これらをどのように基本構想や基本計画に反映していくか、よりよいものを作っていくかというところが大事になってくると思います。

委員の皆さんと議論をし、知恵を出し合いながら、ぜひ良いものになるように努めていきたいと思っています。

それでは少し先に進めたいと思います。次第の4番になりますが、議事として(1)基本構想の検討についてです。このことについて、まず事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは表紙をめくっていただきますと目次がありますが、1 基本構想の背景と目的等、2 現状課題の把握・抽出、3 十日市小・中学校改築の基本理念方針ということで、3つの項目で構成しています。

続きまして1ページをご覧くださいと思います。1番として、基本構想の背景と目的で、1-1 背景につきましては、1回目の策定委員会でもお示したものと同様の記載をさせていただいています。1-2 目的につきましては、この基本構想策定についての考え方をこちらで記載をしています。

それでは続きまして2ページをお願いします。1-3 上位計画等の整理ということで、まず策定基準として、国や市の上位計画・関連計画を踏まえて策定するということを記載しています。こちらでも1回目の策定委員会でもお示した関係計画の該当する部分を抜粋して記載しています。まず(1)として、国、文科省における新しい時代の学びを実現する学校施設のあり方について、(2)が三次市の総合計画、みよし未来共創ビジョンについて、続いて3ページ(3)が、三次市教育大綱、三次市教育振興基本計画である「みよし学びの共創プラン」について、(4)として、過疎地域持続的発展計画に基づく主要事業の実施についてが5ページにかけて記載しています。最後に(5)として、三次市公共施設等総合管理計画について記載をしています。

ここまでが関連計画の記載ということになります。ここで資料が(5)の三次市公共施設等総合管理計画の計画期間のところだけが西暦表示になっていますので、後ほど修正したいと思います。平成28年から令和17年度ということになります。表記を揃えたいと思います。申し訳ございません。続きまして6ページをお願いします。2つ目の項目、現状課題の把握・抽出です。

まず①として施設について記載をしています。それぞれ竣工から40年以上経過していること、耐震補強は行われていますが、近年の教育や社会の変化に対応するためには、建物の全面的な改築が必要であることをこちらに記載しています。

続いて②，児童・生徒数の減少では，少子化によりまして，児童・生徒数が減少する一方で，特別な配慮を必要とする児童・生徒は増加傾向であり，こうした状況に柔軟に対応していく必要があるということをこちらに書いております。

③立地条件として，中心市街地に立地する最も児童・生徒数の多い学校であること，また，洪水想定区域内であることを記載した上で，今回の改築にあたっては，敷地面積があること，児童・生徒の通学，周辺施設との連携，災害時の役割等を考慮し，現在地で建て替えるということをこちらに記載しています。

隣の7ページから8ページにかけては，1回目の策定委員会でもお示した，十日市小学校・中学校の面積や建築概要をこちらに記載しています。続きまして9ページをご覧ください。

こちらが児童・生徒数，職員数となります。小中学校それぞれの児童・生徒数，職員数を今年の5月1日現在を記載しています。また，現在推計できる範囲で，令和12年度までの児童・生徒数の見込みを記載しています。

続きまして11ページをご覧ください。こちらが自然災害への備えとしまして，洪水想定区域であること，補助避難所として指定されているため，改築する学校についても，避難所としての機能を確保する必要があることをこちらに記載しています。

続きまして12ページをご覧ください。ここからが3つ目の項目，十日市小・中学校の改築の基本理念と方針となります。

ここからの部分につきましては，第1回策定委員会でのご意見，また学校あり方部会での議論，それからワークショップ形式で，合同で行った第1回専門部会でのご意見を盛り込み，まとめさせていただいていきます。まず12ページの基本理念につきましては，三次市教育大綱の基本理念を記載しています。

中段には，学校の役割，教育活動についての考え方を記載しています。下段6行につきましては，十日市地区の特性として，中心部に位置していること，児童・生徒数が最も多いこと，周辺との繋がりを多様に持ちやすいことを記載しまして，今回の改築にあたっては，十日市小・中学校が多様で魅力的な学びを実現し，新たな価値を創造するにふさわしい学校をめざすということを記載しています。

続きまして13ページをご覧ください。基本方針としまして，まず（1）施設整備方針では，現在本市で小中一貫教育を進めていること，これを踏まえて，それを活かせる施設，多様な学びの環境づくりや，敷地の有効活用の観点から，施設一体型小中一貫校として整備することをこちらに記載しています。

（2）基本的な考え方として，4つの分野で整理をしています。①として，まずは安全・安心な学校として良好な環境に配慮すること，全ての子どもたちの命と健康を守るために，防災・防犯などの安全性を確保していくことを

記載しています。また災害時の避難所機能の確保と、利用者全てに優しい学校施設として整備することを記載しています。具体的事項として5点記載しています。②が主体性を育む学校として、VUCAの時代に子どもたちが幸せに生き抜くことができるよう、主体性を育む探究的な学びへの転換が図られていることを記載しています。VUCAとは、こちらに書いてありますように、変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字をとった造語であり、近年の気候変動や、デジタル技術の急速な進歩、新型コロナの感染拡大など、将来の予測が困難な状況を表す言葉です。

13ページから14ページにかけて主体性を育む教育が重要であることを、具体事項として3点記載しています。

続いて③多様なつながりで共創する学校として学校の中で完結する学びから周辺と混ざり合うことを生かし、外に開いていく学びを創造することを記載しています。また、十日市中学校における児童・生徒の交流を図ることができるような施設整備が大切であること、長く使い続ける施設として、柔軟性・変性を持つ学校とすることを、具体的事項として2点記載しています。最後④では、効率的・効果的な施設・設備の配置と運用として、限られた敷地の中で必要な施設設備を確保するため、校舎の配置、階高、諸室配置について、効率的かつ効果的に配置運用すること、それから財源も限られているため、適切にコストをコントロールしながら性能を確保していくことを具体的事項として3点記載しています。

以上、基本構想のたたき台の説明とさせていただきますが、本日説明させていただいた基本方針には、いわゆるわかりやすいテーマやキーワードといったものを記載していませんが、今後議論を進める中で、十日市らしいワードが設定できればと考えています。

それから、ワークショップでもいただいた個別具体の意見（グラウンドやプール駐車場が狭い、体育館の利便性、車の出入り）については今後の専門部会で改めて議論をお願いさせていただき、基本計画以降において反映について検討していきたいと思います。

この基本構想につきましては、今後の専門部会、それから策定委員会の中での議論におきまして、基本計画を検討する中で、必要に応じて修正を加えていきたいと考えていますので、本日はたたき台としてお示しをさせていただきました。委員の皆さんから様々なご意見をいただきまして、内容に磨きをかけていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

委員長

それではただいまの基本構想たたき台ですが、あり方部会での議論とも関係しますので、私からそして副委員長からも少し言葉を添えたいと思います。まず私からですが、議論の様子などについて、様々な観点から柔らかに議論をしてきました。様々な観点と申しましたが、そこで出てきた観点は必ずしも十分ではないと思いますので、広く委員の皆様からいただいているご報告やご質問やご意見などを踏まえながら、これから進んでいくものと思います。

その中で、このたたき台もそうですが、学校として、あるいは市の施設として一般的に大切なことというのは当然大切なことであって、それらがきちんと整理をされつつあって、これは特徴を持ちながらも全国どこでも、共通的に大事なことなどもたくさんあると思います。

合わせて、今度は三次市であったり、十日市ということで言いますと、個別の特性であるとか、個別の課題もあると思います。三次市としての夢や十日市としての夢ももちろん大事ですし、そこはこれから明確にしていくということができればいいと思いますが、同時に現状の中にある個別の難しさもあると思いますので、そこは私達がしっかりと委員の皆さん、ここの委員会においてしっかりと知恵を出して、どのようにしてその課題を克服していけばいいのか、解決していけばいいのかということで、これから進んでいくだろうと思います。個別の補足ということではなくて若干の整理と感想のようなことを私から申し上げました。

副委員長

1点補足としては、あり方部会の中で出てきたのは、学校と地域ということだけではなくて、小学校と地域の関係性はもちろん大事なのですが、三次市の小学校全体の中でネットワークを組んで教育していくという視点も出ました。平成の大合併の後に学校が統廃合されて、いろんな市町村で学校は少なくなってきましたが、今は残った学校でネットワーク組みながら、教育していくことが大事です。

もう1点は、たくさん議論が出ていますが、地域との連携の中で、安全・安心という部分と、それから地域に開くという部分は、これは一見相反する二項対立的なことのように見えますけど、絶対成立する、両方がうまく成立する答えはあると思っています。

ですから、例えば、大きな団地を切り開いて、その中に宅地の中に学校がポツンとあることを考えると、今の小・中学校は周りに良い資源があって、それをどう活用するかということが大事な部分なので、皆さんでぜひ議論して、コストのこともあるので、いろんな制約があると思いますが、総合的にいい答えが出たらいいなと思います。

委員長

ありがとうございました。基本構想たたき台について事務方からご説明をいただき、委員長、副委員長から関連して若干の補足をさせていただいたところですが、それではこの基本構想のたたき台について、ご質問やご意見などいただければと思います。フリーディスカッションということでご発言いただければと思います。

委員

生まれてからはほとんどはこの地域におりまして、47豪雨で被災もしましたし学校ももっと古い校舎でした。校舎の中に庭のようなものを大きくとった時もありました。安心・安全な校舎が前提だと思いますが、基本的に基本教育の方針を追従するような子どもにするのか、主体的に動いていくのかを一生懸命するのかということを考えていかないといけないし、その考えが校舎に反映されればと思っています。

その校舎について、これからAI化ということで、校舎見せてもらいました

が、これからコンセントとか、光ケーブルとかいろんなものを、あっちこっちで使わなくてはいけない可能性があると思います。それで僕自身は機械化とか便利さを小学校の段階で広く与えるべきではないぐらいに思っていますが、上になると、どんどん現代的な機器とかを揃えていかないといけないのではないかと思います。

基本的には、共同管のようなものをあちこちの壁につけてもらって、コンセントや光ファイバーをたくさん付けていただきたいと思います。それと小学校のトイレを見せてもらいましたが、洋式が4つに和式が3つぐらいのトイレだったと思います。和式をどの程度を残しているのか分かりませんが、ほとんど使っていないと思います。特に中学校の職員のトイレはほとんど使わないのではないですか。

防災につきまして、川の方に逃げるということは、今まで経験はしてないです。47豪雨のときも、あの学校に逃げるという発想はありませんでした。一時的に上まで逃げられるような外階段等があればと思っておりますが、小学校に避難所的なものを設けるのは無理ではないかと思います。

それよりは住宅の配置から考えたら、中学校に逃げさせてもらいたいと思います。ほとんどは川から離れた市役所か、駅の裏の方にみんな移動すると思います。

委員

最近では、いわゆる電源ケーブルがコンセントだけではなくて、USB ケーブルを挿せるようになっていきます。ホテルはほとんどそうになっています。

学校は古いままなので、そのようなものはないと思いますが、これからはいろんな IT 機器を使ったりするの、電源を取ったりいろんな情報を交換するの、そのようなものが必要ではないかと思います。

まず立地のことをお話したいのですが、私は家業が建設をやっているもので、どちらに建てられるのかは、非常に心配します。というのが、今の中学校も小学校も、大きな機械や資材を運ぶトラックがどちらにしても入らないと思います。

将来、学校が統廃合される・されないにしても、特別に配慮が必要な子どもが通うために、そのような車両が出入りするようなこともあるかもしれません。6 ページの③に、現在地での建て替えを基本として書いてあるので、建て替えは小学校の敷地なのか中学校の敷地なのか、かなり条件が厳しいので、設計の方が頭抱えると思います。どちらにするにしても、大きな道に繋がっていません。

委員長

ありがとうございました。引き続きご意見をいただきたいと思いますが、内容が多岐にわたってきましたので、若干の整理をさせていただきたいと思います。

子どもたちをどう育てていくのかという理念や考えがすごく大事であって、建物・施設等との関係性が大事になってくるでしょうというお話でした。そのときに大人があらかじめ決めた教育の方針に、子どもたちを当てはめていくようなことなのか、それともその子どもたちの主体性が発揮されるよう

なことなのかということをしていただきました。

非常に大事なことで留意しないといけないと思いますが、どちらかということではなくて、子どもたちの主体性が発揮できるような教育のあり方を描いて、そのようなことが実現するような建物とか、環境を考えていきましょうということだと受け止めました。が、よろしいでしょうか。

委員

基本的には、自分が主人公で生きていくというような子どもになれば、いろんなことに対処できるんじゃないか、尚且つ自ら行動してくれるような子どもに育ってもらいたいと思っています。

委員長

ありがとうございます。大事なことだと思いますので、頭の中に入れておきながら、これを考えていければと思います。

あわせて具体的などころがいくつか指摘されました。これからの社会に応じた設備で、共同化のアイディアなどもいただきましたし、その時々に応じて可変性があるとか、付加ができるような作り方ということは、いずれにしても大事なことだと思います。

トイレについても、生活する場として子どもたちも教職員も地域の方々も、適切に過ごすことができるような生活環境というのは非常に大事なことだと思います。

避難・防災についても、避難の実際のイメージもありましたが、アイディアとしては、避難タワーといいますか、少し高いところというところのアイディアも頂戴しました。

立地はこれからどんな建物をどこの敷地にというのは大事になってところですので、検討が必要のところになってくると思います。

工事中的手順であるとか、工事中的安心・安全であるとかも、同時に考えていかなければならない課題として、ご指摘をいただきました。

十分な整理にはならなかったかもしれませんが、一旦ここまでのところで、事務局の方からあればお聞かせいただきたいと思います。いかがですか。

事務局

失礼いたします。本日は委員の皆さんありがとうございます。

先ほど言っていた、どういう子どもを育てたいか、委員長からも再度確認をしていただきました。私どもが示しておりますこのプランにおいても、「みよし結芽人～幸輝心～」をスローガンとしています。

造語ではありますが、まさに今おっしゃっていただきましたように、これからの激動する社会をきちんと真正面から捉えて、そして自分が社会の主人公になってそして自立をし、多様な人たちと協働しながら、あらゆる価値を認め合って、新しいその価値創造だったり、納得解であったりそういったものを、お互いに作っていく。それは人任せではなくて自分が主体であるという意味での主体性を育むという文言が、まさに皆さんから示していただいたまとめになっているのかなと思います。

改めてそのことについては三次市全体としても、進めていきたいと思われし、とりわけ十日市については中心であり、混ざりやすいという条件を捉えて、中身を進めていくことは大事だと考えています。

事務局 避難所の関係につきましては、たたき台の方にも書いておりますが、現在補助避難所ということで指定していますので、新しい学校につきましても、何らかそういった災害時の対応のできる学校として整備していく必要があるかと思います。先般のワークショップの中で、高いところへ逃げる方がいいのではないかとのご意見もいただきましたが、隣に保育所もありますし、高齢者の方などもいらっしゃいますので、緊急時には学校の方へ避難することも想定しなくてはいけないと思います。外階段があつたら、そこからみんな上がっていけるので、校舎の中に入らなくても高いところに逃げることができるというご意見もいただきましたので、新しい学校にどこまでどういった機能を備えるかというところにつきましては、基本計画以降のところで検討していきたいと思います。

それから、どこにどのように建てるかというところにつきましても、次回以降の基本計画の検討段階で、いくつか配置パターンをお示ししながら、メリットやデメリットなど、経費のこともありますので、どういった建て方が有効であるかというところは検討していきたいと思います。

委員長 ありがとうございます。

それでは改めてになりますが、基本構想のこのたたき台について他にご質問ご意見をお願いいたします。

委員 3点意見があります。

この基本構想のたたき台にこういう文言が追加されたらどうかと考えました。まず、最終ページ④の効率的・効果的な施設・設備の配置と運用を今後公表していく中で、校舎の配置という文言があります。ここに建物数をどうするのかということを明記されてもいいのではないかと思います。ワークショップにも参加しましたが、建物をいくつにするのか、こういう機能を持たせて建物を建て方がいいのではないかと意見を持った人もいたと思うので、建物数は未定ですという文言が盛り込まれても良いのではないかと思います。

それから、現在ひょうたん型の敷地といいますか、小学校の敷地と中学校の敷地を両方同時に考えているわけで、小学校側の敷地と中学校側の敷地の動線について考える必要があります。よって、これについても敷地間のアクセスについて無視してはならないという文言を入れた方がいいのではないかと思います。

また、子どもがいない方についても守っていかないと、結局は子どもを守ることに繋がらないと思うので、すでに子育てを卒業されたような世代とか、子どもとあんまり関わりたくないような方もいることを踏まえて、そういった周辺住民への配慮も行うということを盛り込んでもいいのではないかと思います。

委員長 ありがとうございます。建物の数は1棟2棟とかということですか。

委員 そうですね。2棟でいくのかもしれないし、1棟でいくのかもしれない。予算のこともあるので分かりませんが。

委員長 事務局に確認ですが、基本計画がまず全部固まって、構想が全部固まって計画に移っていくということでは必ずしもなくて、計画を作っていく中で、構想を微調整したり、場合によっては大きく修正したりということも、柔軟に進めていくということによろしいですか。そのような意味では今の建物の数のことも念頭に置きながら進めていくことになると思います。

そのことはおそらく敷地間のアクセスといいますか、そこ非常に大きなポイントになると思います。それから3番目周辺住民、多様な住民の多様性にどういうふうに配慮していくかということの記述も、それは必要ではないかというご意見をいただきました。

併せてあるいはそれ以外のことについていかがでしょうか。

委員 基本構想の中の小中一貫教育校について教えてください

委員長 事務局からお話しいただけますか。

事務局 言葉がちょっと難しいですが、3ページから4ページ、5ページにかけて過疎地域持続的発展計画に基づく主要事業の実施について計画を書いています。この中で小・中学校の老朽化対策の方針を書いています。その中で今、おっしゃっていただいた4ページの下の方の黒丸のところの改修建て替えの基本単位というところの記載の中に最後の5ページの(5)の上の最後の3行ぐらいですが、同校区内で同時期に小学校中学校の建て替えを検討する時期に至っている学校については、小中一貫教育校または義務教育校の可能性についても柔軟に検討していきましようということで、この令和3年のときにこの小中学校の老朽化対策の方針を決めたのですが、その中でこういった記載をしています。

今回の十日市小中学校の建て替えに当たっては義務教育校ということではなく、現在の三次市の小中一貫教育を生かせる学校として、施設一体型の小中一貫校として整備をしていきたいと考えています。

委員 ということは、栗屋小学校や酒河小学校は、今のところは中学校の段階で一緒になりますが、方向性としたら、全てが十日市の小中一貫校に統合されるという方向でしょうか。

事務局 ありがとうございます。

今おっしゃっていただきました、いわゆる栗屋小学校と酒河小学校という、十日市中学校区内にある小学校は、今の構想の中には入れていないということをご議論をいただいたということで、今回の十日市小・中学校の一体的な整備ということを考えるときには、あくまでも現在の十日市小学校と十日市中学校を対象に一体的に整備を進めていただくということを前提に考えています。

栗屋小学校、酒河小学校につきましては、いろいろ市全体での学校のあり方というところに関わる部分がありますので、その部分については、また違う形で検討していくということで、私どもの方では課題として持っているところです。

委員 小学校と中学校を見させてもらって、余裕がある小学校側の方が、何となく

使い便利良かったと思っています。十日市中学校側の校舎は何度も増設したような建て方に見えます。一番北東側の音楽室とか配膳室は見通しが悪く、変な建て方に見えます。

ということは、先で統合もあるようなら、中学校がもう少し余裕のある校舎を建てた方がいいのではないかと思います。

委員 十日市中学校は僕が現役のときにできましたが、職員室の上に将来増築する予定だったと聞きました。

委員 先生にちょっとお聞きしたいのですが、役所の建物は、ほとんどが鉄筋コンクリートなのですが、民間建物はほとんど鉄筋コンクリートではなくて、鉄骨 ALC 構造です。あれは強度の違いがかなりあるのですか。

副委員長 はい。強度は鉄骨であろうが、RC 鉄筋コンクリートであろうが計算で鉄骨を太くしたら結構強くなりますし、いかようにでもできます。どちらが強いということではないです。

委員 14 ページに適切にコストコントロールしながら、目標とする性能を確保すると書いてありますが、鉄骨 ALC 構造であれば、ある程度コストダウンできて、子どもが増えたり減ったりしたときに、ある程度自在に減らしたり増やしたりできると思います。

委員長 ありがとうございます。非常に大事なことばかりですが、建物については、いい意味でゆとり、使いやすさがもちろん重要ですし、それから子どもの学び・育ちになってきます。

併せて、建物の構造として、あるいは工法として、コストパフォーマンスとの兼ね合いもありつつ、柔軟性のある作りが望ましいという意見をいただきました。他にいかがでしょうか。

委員 基本構想に、十日市らしさをどう盛り込むことができるかと考えたときに、この一級河川の合流地点の近くであり、三次のシンボルである巴橋が近くにある学校は、三次の中でも十日市だけだと思います。子どもたちも川のそばに住んでいる感覚がなく、見える生活していません。ですので、雨が降って川が危なくても、怖さを感じていません。子育てをしながら、そう感じますので、この立地を生かす十日市らしさを出すのであれば、自然の変化とか、綺麗な面も怖い面も日常的に目に見える環境に学校を作っていただけたらと思います。また、のびのびした田舎らしい学校にしてほしいです。

そして特色や個性があって、コンセプトなどがわかりやすい学校を考えてみました。建物を作るときにメーターモジュールという単語とかも出てくると思いますが、十日市小学校・中学校は「三次モジュール」「十日市モジュール」という単位を決めて、魅力をアピールしたらいいのではないかと思います。また、将来的には三次市全域の子がもしかしたら、ここに集約されるかもしれないので、三次市全体の学校である機能が欲しいと思います。

ワークショップの中でも、図書館を使用した「地域とのつながり」という意見もありましたが、それに加えて三次市の美術館や資料館との関係性も取り入れることができれば、子どもたちの興味や市民の情報共有の場にもなると

思います。

十日市らしさとは違いますが、現在体育館を市民が借りることができる状況で、一つのフロアしかありません。誰かが借りたら借りられない状況ですので、うまく利用の効率化ができたらいいと思います。

私が見たことある学校では、建物の最上階に大きい体育館とダンスや卓球ができる部屋等、バリエーションがあって、すごく素敵だと思いました。

そう分けることで、学校のカリキュラムの組み合わせがスムーズになるのではないかと思います。

委員長

ありがとうございました。まずは川ということについての貴重なお考えをいただきました。もちろん川は防災上、危険な存在ではありますが、同時に私達が生きていく上で欠かせないものでもあって、そのようなものである川を一つの特色にできるのではないかというアイディアも頂戴しました。

それから冒頭、事務局からのご説明にありました通り、このたたき台の段階ではコンセプトがキーワードのような形で、整理・提案されていないわけですが、そこに繋がるようなアイディアがいくつか頂戴したように思います。

「三次モジュール」ということもいただきましたし、ネットワークサテライトということも大事なことになるかと思います。また体育館のあり方について、効率的な運用ができることは、市民にとっても、授業展開する学校にとっても大事なポイントになるかと思います。

多様な観点から意見をいただいております。せっかくの機会ですので、他にございますか。

委員

なかなか先生から発言しにくいと思うので申し上げます。

今職員室でお過ごしになられると思いますが、僕ら社会人には仕事を離れて使用できるリフレッシュスペースみたいなものがあります。それが教職員にとっても働きやすい環境整備であったり、職員室以外に児童・生徒と交流できるスペースになるかもしれませんし、授業等に関係しない人間対人間みたいな触れ合いができる場所が欲しいのではないかと思います。

それから最近不登校の子どもが増えてきて、教育長も頭を痛めておられるところだと思いますが、十日市小・中学校に限らず、三次市内の不登校の児童・生徒に対して発信できるスペース、情報ルームの設置が必要だと思います。

いろんな子どもが増えていくでしょうから、学校だけが勉強する場ではないと保護者の方も悩まれると思います。子どもが学校行かなくなるとどうしようかと思いますが、学校との行き来が可能であったり、先生との行き来ができるというところで、先生のほっとするスペースと子どもたちとの関わりができるスペースをぜひ設けていただければと思います。

委員長

ありがとうございます。

それではこの件につきましては、ぜひ学校側からご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

委員

ありがとうございます。

この前、学校・PTA部会があったときに、十日市中学校職員からの意見を
持っていました。その中に、先ほど言われたような、職員の休憩室である
とか更衣室であるとか、職員トイレの整備、個部屋の設置（生徒相談、指導、
職員の打ち合わせ、来訪者の対応）があれば良いということをお話させてい
ただきました。

そのときには多目的ルーム100人程度が集まれる場所ということ具体的
に出させていただきましたが、前回の策定委員会ではリモートを使って外国
の方と触れ合う場があればという話もさせていただきました。

例えば、去年塩町中学校にいたときにインドからの修学旅行生が50人訪問
されました。そのときに、対応できる場所が体育館しかなかったので、その
ような訪問者が来たときに対応できるような部屋があればいいなと思いま
した。十日市小・中学校というのが、三次の中心にある学校なので、先ほど
も出ていましたように駅から近いですし、利便性を考えると、とても良い位
置にあります。国とか県、老若男女とか問わず、いろんなところからお客さ
んが来て、集まるところであればいいなということも考えています。

委員

多様な繋がりで共創するという、教育委員会の基本構想に関わって、多様な
繋がりというのは子ども同士の繋がり、先生と児童・生徒の繋がりという
ところがあると思います。子ども同士の繋がりと言いますと、コロナの状況で
なかなか学級単位でしか動いてなかった部分を、異学年の交流であるとか、
1年生から6年生、もっと言う中学生から小学生の縦割りで行動できる
という部分で言うと、教室というよりも、広い廊下で、少人数で集まるとか
可変性のある場所が大事だと思っています。

また、児童・生徒と教職員の関わりという話でいうと、職員室に来るお子さ
んが多くいらっしゃいますので、そういったスペースが職員室にあればいい
と思いますし、先ほどおっしゃってくださった静かにという部分で言うと、
個別に集中して仕事をしたいというときには、電話対応等もシャットダウン
できるような場所があるといいと考えます。

委員長

ありがとうございました。

これも非常に大事なことですけど、私からもちょっと一言お話しします。先
日テレビを見ていると、ある学校で教職員用休憩スペースができましたとい
うのが放送で流れていました。ある国に行きますと、学校にはそのようなス
ペース（自動販売機、本、更衣室等）はもちろん最初からあるので、絶対に
ニュースにはなりません。

ぜひ私の希望としては、今回の学校づくりの基に、三次モデルを掲げて、日
本、全国に先駆けて実現したらいいなと思います。余計なことを私の方から
申しましたけれども、このたたき台にそのようなことも含めることができれ
ばと思います。

時間が3時半を回って、予定の時刻が迫りつつあります。

その他にご質問等いただきたいと思います。

委員

これを直した方がいいのではないかと、一つあります。

13ページの基本的な考え方①安全・安心な学校について、「障害や特別な配慮を必要とする児童・生徒の」の障害の害を、そのまま有害の害の感じで出されますか。どちらでもいいと思いますが、ひらがなが適当かなと思います。多くの方が目にするので、気にしてるぞっていうメッセージになると思います。それから、基本構想ということなので、もう1個アイディアとして、先ほど体育館の使い方の話が出ましたし、ワーキンググループでもカフェの設置等の意見が出ましたので、教職員以外の方が勤める可能性もあるかもしれないということが分かるように、ゼロベースで考えるということが記載してあると良いのではないかと思います。

もし全く何も決まっていらないなら、盛り込まれるとアイディアが湧きやすいのではないかと思います。

委員長

ありがとうございます。

今の点、たたき台の中にゼロベースですけど、検討すると書いていくかどうかということですが、事務局から何かありますか。

教職員以外のお仕事の方が勤める可能性が一つのアイディアで、それはある形の安全の確保の方法の一つである可能性があると思います。そのようなふう to 受け止めました。

委員

防災訓練や学校間の交流について、自分が小学校5年生のときに、福山の小学校と十日市小学校で交換会がありましたので、お互い泊まり合いできるような、交流できる場があればいいなと感じました。

もう一つ、上の階はやっぱり暑いので、どのクラスにもエアコン入って冷房も効くし、暖房に効きますが、どうせなら断熱性能の高いガラスを整備すべきだと思いました。

委員長

ありがとうございます。学校間の交流であるとか防災のための宿泊などカリキュラムや運用と関係することになってくると思いますので、これから検討していくことが大事だと思います。

ガラスのことは私もよくわかりませんが、何かありますか。

副委員長

高性能のガラスは今もいっぱいあります。高いですよ。

委員長

はいありがとうございます。他にいかがですか。

委員

最近ニュースでも子どもが保育所を抜け出して、川におぼれてしまったとか、広島でもありましたし、そのようないろいろな問題も増えている。小学校の方でも授業を抜け出したり、そのような心配事は職員の不安の材料だなと感じます。勉強以外のところでの心配が結構多く、セキュリティ面でも不審者も多いので、安心安全というところで、そちらの方もしっかりやっていただきつつ、腹が立ってしまったら手が出たり足が出たり、反抗期もあったりするので、さっきあったように、ガラスも少々やっても壊れないようにしてもらえたらと思いました。

委員長

ありがとうございます。

安全については建物やその周りの状況と子どもたちの動きとの関係で、とても大事なことでと思いますし、同時に今考えておりますのは、小学校・中学

校ですので、小学校には小学校1年生もちろんいるわけですので、小学校1年生にとっても当然安全でなければいけない。1年生の特性から見ても、よりよい学校であることが大事ですので、そのような意味ではぜひ保育所等の観点からどうだろうかということも引き続き大切な意見・観点としてお聞かせいただければと思います。

他にいかがでしょうか。それでは、一旦ご意見ご質問はここまでとさせていただきます。多様な観点から、ありがとうございました。一応基本構想のたたき台については、これから今日の議論を踏まえて調整・修正、あるいは追加がなされるものと思います。併せてこれからの基本計画の議論を進めていく際に、改めてこの構想の部分を見直したり調整したりということもあると思います。そのように進んでいくことと思います。

今日の段階で、この基本構想のたたき台の根幹に関わって大きくそれを揺るがすようなご意見はなかったように受け止めておりますが、方向としては概ねこのような方向で進んでよろしいかお伺いしたいと思います。

引き続きこのたたき台を基に考えていくということでよろしいでしょうか。それではそのように進めさせていただきます。では次第5その他について事務局からお願いいたします。

5 その他

事務局

大切なご意見たくさんありがとうございました。本日は基本構想というところで、なかなかつかみどころも難しい面もあったと思います。こういった方向性で進めていきたいと思います。次回の策定委員会は8月5日月曜日午後2時からを予定していますが、次回以降につきましては基本計画の部分に入っていきたいと考えています。本日も少しありましたが、敷地の利用計画や建物の規模、概算事業費、事業スケジュールについて議論を移していきたいと考えています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

それに先立ちまして専門部会を開催させていただくよう考えています。学校・PTA部会と地域・生涯学習部会については7月24日水曜日を予定しています。次回の専門部会でご議論いただく中身につきましては先ほど報告しました1回目のワークショップでの議論を少し整理して、論点を整理しまして、部会長とも相談をさせていただきながら、もう少し詰めていきたいと思いますのでご協力よろしくお願いいたします。

委員長

ありがとうございました。

以上で予定していた議事は全て終了となります。委員の皆様には議事の円滑な進行にご協力いただき、そしてまた貴重なご意見を頂戴して本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。それでは事務局にお返しします。

事務局

委員の皆様には、長時間にわたりありがとうございました。

次回の専門部会、それから策定委員会につきましては、改めてご案内させていただきますが、7月24日14時から地域・生涯学習部会、18時から学校・PTA部会、8月5日には策定員会を市役所で行いますので、日程確保をお願いします。

それでは以上を持ちまして、第2回策定委員会を終了します。